

「智仁勇三徳兼备」の英雄か、「表裏之仁」の梟雄か。激動の時代を駆け抜けた「為信の城」が今、よみがえる。



国指定史跡 津軽氏城跡

堀越城跡

ほりごしじょうあと

弘前藩初代藩主 津軽為信 最後の居城

2020年(令和2年)4月17日 午前10時 全面公開 開始

堀越城跡ガイダンス施設(旧石戸谷家住宅)前特設会場にてオープニングセレモニー開催



堀越城は、1594年(文祿3年)、のちの弘前藩初代藩主津軽為信により、津軽統治の拠点として、現在の姿に整備されました。その後、1611年(慶長16年)の弘前城への本拠移転までの17年間、堀越城は津軽の中心として栄えました。

弘前市では、発掘調査の成果に基づき、2012年(平成24年)の本丸地区から史跡整備工事を開始、2020年(令和2年)3月までに城内全地区、8年に及ぶ工事を終えます。

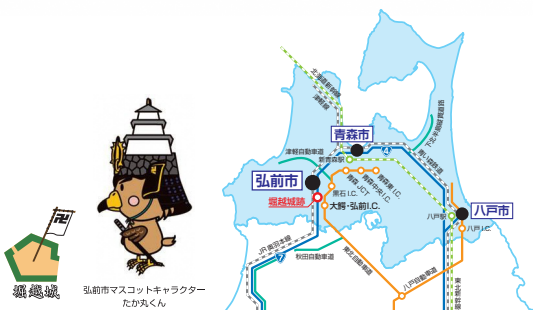
2020年(令和2年)春、「現代の築城」により、よみがえった「為信の城」に是非おいでください。

ご案内

- 堀越城跡ガイダンス施設(旧石戸谷家住宅)
開館期間 4月17日～11月23日
開館時間 午前9時～午後4時
- 堀越城内 通年開放(冬季除雪なし)

お問い合わせ先

- 4月17日～11月23日
史跡堀越城跡管理事務所
(青森県弘前市大字川合字岡本160-1 旧石戸谷家住宅内)
TEL 0172-26-2950
- 11月24日～4月16日(冬季)
弘前市教育委員会文化財課
(青森県弘前市大字賀田一丁目1-1 弘前市岩木庁舎3階)
TEL 0172-82-1642



堀越城跡ガイダンス施設 —旧石戸谷家住宅—

堀越城跡東側に移築された旧石戸谷家住宅は、かつて弘前市街地北西の浜の町に所在した、津軽を代表する豪農・石戸谷家の主屋です。

住宅のかつてのウマヤに整備した展示エリアでは、為信の城「堀越城」を、6つのコーナーで紐解きます。また、エントランスホールであるトグチには、堀越城の復元模型、ニワには、為信と堀越城の紹介映像を放映する映像コーナーと、様々な歴史体験ができるワークショップスペースを整備しています。



堀越城跡ガイダンス 展示イメージ図

現代の築城

堀越城跡は、1985年（昭和60年）に国指定史跡となりました。その後、弘前市は1998～2013年（平成10～25年）に発掘調査を実施、この成果を踏まえて、2012～2019年（平成24～令和元年）に整備工事を実施し、2020年（令和2年）4月に全面公開を開始しました。整備では、1594年（文禄3年）の為信による大改修後の堀越城の姿を基準とし、崩落していた土塁を本来の高さに、埋没していた堀を再掘削で本来の深さに復元するなど、主に土木事業の痕跡を復元しています。また、本丸の礎石建物は復元礎石により、その他の掘立柱建物は柱位置の表示により、建物の範囲を示しました。

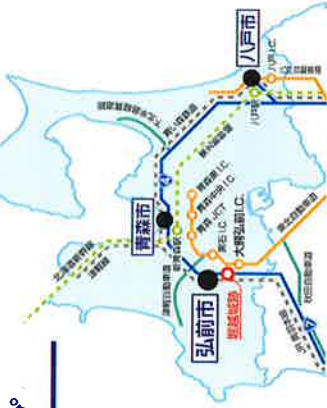


発掘時の本丸東門跡（2012年）



整備後の本丸東門跡（2017年）

アクセスマップ



お城を見学されるみなさまへ

見学の際は、ルールとマナーを守り、周辺にお住まいの方へのご配慮を。



ご案内

- 堀越城跡ガイダンス施設（旧石戸谷家住宅）
開館期間 4月17日～11月23日
閉館時間 午前9時～午後4時
- 堀越城内 通年開放（冬季は除雪しません）

お問い合わせ先

- 4月17日～11月23日
史跡堀越城跡管理事務所
（青森県弘前市大字川合字岡本160-1 旧石戸谷家住宅内）
TEL 0172-26-2950
- 11月24日～4月16日（冬季）
弘前市教育委員会文化財課
（青森県弘前市大字賀田一丁目1-1 弘前市岩木庁舎3階）
TEL 0172-82-1642

国指定史跡 津軽為信氏城跡を

堀越城跡

弘前藩初代藩主 津軽為信 最後の居城



堀越城とは

堀越城は、弘前藩の初代藩主である津軽為信が、最後の居城とした城です。為信が大浦城（弘前市五代）から居城を移した1594年（文禄3年）から、二代藩主信枚が、高岡城（のちの弘前城）へ居城を移すまでの約17年間、津軽の中心として機能しました。



津軽為信と堀越城

文献上で「堀越」の名が現れるのは、南北朝時代の1337年（建武4年）のことで、「堀越に楯（鎧）を築く」と記されていますが、この「楯」の詳細は不明です。堀越が再び文献に現れるのは、16世紀後半、「南部右京亮」為信、後の津軽為信が、当時津軽を支配していた南部氏から独立を図る過程においてです。

1731年（享保16年）、弘前藩によって編さんされた『津軽一統志』によると、1571年（元龜2年）、為信は堀越城から石川城主南部高信を奇襲、攻め落としたとされます。その後、為信は大光寺城（平川市）や浅瀬石城（黒石市）などを攻略、津軽の支配を進め、1591年（天正19年）頃までには、豊臣秀吉から大名として認められたようです。

1594年（文禄3年）、為信は大浦城から堀越城へと本拠を移転します。現在残る堀越城の構造は、この移転時に、為信が行った大改修によって築かれたものと考えられています。

これまでの調査成果から、堀越城は、城の中心に城主の住む本丸があり、その周囲を家臣などが住む二之丸、三之丸、外構などの曲輪が取り囲む、求心的な構造を示すことが判明しています。また、本丸からは礎石建物、三之丸からは礎石建物などが確認されており、城内に多くの建物が建ち並んでいたこともわかりました。なお、二之丸ではたくさんのお鍛冶師が並んで見つかることから、城内には武士だけでなく鉄や銅の製品をつくる職人もいたようです。

史跡堀越城跡案内図

休憩施設
トイレとおさまやがあります。
※冬季は閉鎖します。

休憩施設
トイレとおさまやがあります。
※冬季は閉鎖します。

国土地理院交差点周辺の史跡名称看板がお城の目印です。

ロープウェイと多目的スペース
は、見学の際の休憩場所としてご利用ください。
※冬季は閉鎖します。

堀越城跡がイグニス施設 江戸時代末期の農家住宅 江戸石家住宅」を移築活用。
※冬季は閉鎖します。

休憩施設
トイレとおさまやがあります。
※冬季は閉鎖します。

住居スペース
見学の際にご利用ください。
※冬季は閉鎖します。

石川河原の東を走る東国街道、西口では遺構がみられます。

土塁と中土塁、土塀が残り所す復元の城壁を復元。

三之丸展覧スペースでは二重の礎石土塀が復元されています。

土塁と中土塁、土塀が残り所す復元の城壁を復元。

外堀で確認された石敷きの城道と外堀にかかる土橋を復元。

近江木桶の掛かる本丸では、御殿と東門の礎石を復元表示しています。

本丸展覧スペースでは土塀の復元を体験できるほか、復元した日には遊木山を遊覧できます。

復元された二之丸西側の土塀、土塀、外堀が見学できます。

休憩施設
トイレとおさまやがあります。
※冬季は閉鎖します。

標柱の跡地に、復元された二之丸と三之丸の土塁が折り返すように並び見えます。

休憩施設
トイレとおさまやがあります。
※冬季は閉鎖します。

